

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09030084

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	3	水産業の振興	事業優先度	A		
単位施策	1	水産資源の保護・増大	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	海岸漂着物等処理事業		見直し年度			
事業期間	平成28年度～平成29年度		担当課	9 産業振興課		
事業主体	町		関係課	4 住民生活課		
事業指標	流木処理			#N/A		
事業目標	流木処理 一式		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加 住民協働	有	漁業者等によるの流木の一時集積	関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	例年、台風時期に河川等からの流木が沖に流れ、サケ定置網漁等への甚大な被害を及ぼす危険性があることから、漁業者等が一時堆積した流木の処理を行う。 ・事業費(400千円/1年) ・海岸漂着物地域対策推進事業の活用を要望(8/10が補助対象 補助残の8割が特交措置)				海岸漂着物等処理業務委託(一時堆積流木運搬・処理) 事業費 400千円	海岸漂着物等処理業務委託(一時堆積流木運搬・処理) 事業費 400千円	
	事業費(千円)	800	0	0	0	400	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	320				320	
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	480				80	400	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	400	0	0	0	400	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	400					400	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】				海岸漂着物等処理業務委託 一時堆積流木運搬・処理(15t)	各漁港の港内及び海岸の状況調査	
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値				流木処理 一式	流木処理 一式
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100%	0%
	全体達成率	0%	0%	0%	50%	50%	
	事業進捗状況						

事業名	海岸漂着物等処理事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	水産係長	高田 勉

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	漁業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	海岸漂着物等処理	
【抱える課題やニーズは】	台風時期の河川等からの流木が沖に流れることにより、サケ定置網漁等へ被害を与えている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	漁港内へ一時堆積した流木の定期的な運搬・廃棄処理	① 海岸漂着物等処理	目標年度	平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	漁業の安全操業及び安定経営が図られる。		目標値	1式
			実績値	0式
			達成度	0.0%
		②	目標年度	年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	各漁港の港内及び海岸の状況調査	各漁港及び海岸の流木等の堆積物の状況について調査を行った。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	さけ漁業等の安定操業は、地域経済の活性化に直結することから、必要な事業である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	各漁港の流木等の堆積状況を調査した結果、事業実施の必要がないことから、実施しなかった。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	流木等の撤去に係る費用負担が発生しなかった。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	費用負担も無く、公平性が保たれている。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
	B	
	各漁港の流木等の堆積状況を調査した結果、事業実施の必要がないことから、実施しなかった。	

今後の展開方向
(Action)

	継続/現状維持	
	本事業は、災害時における緊急性を伴う要素があり、状況に応じて実施する必要があることから、事業優先度の変更等の検討を進めることとする。	

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止